



「麒麟がくる」をもっと知る 岐阜市に大河ドラマ館オープン

1月11日、岐阜市歴史博物館で、「麒麟がくる 岐阜 大河ドラマ館」がオープンしました。

ドラマ館では、撮影で使用された衣装や小道具を間近で見ることができ、ただでなく、斎藤道三の広間を忠実に再現したセットや、等身大パネルと一緒に写真撮影をすることができます。また、美濃国守護土岐氏ゆかりの大桑城跡の採集品なども展示されています。



新たな時代を切り開く 令和元年度成人式



1月12日、美山中央公民館で令和元年度の成人式を行い、新成人243人が参加しました。

式典では、実行委員の春日佑衣子さんのピアノ演奏による国歌斉唱の後、桂川未有さんと桑原菜摘さんに続いて新成人が市民憲章を唱和。新成人を代表し、浅野卓郎さんと服部千悠さんが「二十歳の誓い」を力強く述べました。

また、式典終了後には、10人の新成人が実行委員となって企画した記念交流会があり、新成人は、同級生や恩師と昔話に花を咲かせていました。

誕生を祝して

出産祝金贈呈式開催

1月24日、市役所公室で、出産祝金の贈呈式を行いました。

これまで出産祝金は担当課から交付していましたが、子育て支援日本一を目指す山県市では、今後市長が市を支えていく新たな一員を迎えるという祝意を伝えるため、直接手渡します。

ふるさと山県での生活を末永く健やかに過ごしてもらうため、今後も各種子育て支援事業を継続して行っていく予定です。



リトアニア文化

交流教室を開催



1月26日、梅原公民館で県と縁の深いリトアニアの文化・習慣を知ってもらうことを目的に文化交流教室を行いました。この教室は、山県市の国際交流を推進する山県市ホストファミリーの会の協力で、初めて開催しました。

リトアニア出身の県国際交流員ジヴィレ・ヨマンタイテさんと、リトアニアの家庭料理と一緒に作ったり、文化などの話を聞いたりしました。参加者は「料理がとてもおいしかった」と話していました。

社会を明るくする運動 作文コンテスト表彰



1月23日、市役所公室で第69回社会を明るくする運動作文コンテスト入賞者の表彰式が行われました。

このコンテストは、次世代を担う子どもたちが、日常や学校生活の中で体験したことを作文に書くことで、犯罪のない明るい社会を築こうとするこの運動への理解を深めることを目的に行っています。

コンテストには、優秀賞4人と優良賞7人が入賞し、表彰式当日は9人が出席しました。

全国大会で県立岐阜商業 高等学校吹奏楽部が金賞受賞



1月20日、第47回マーチングバンド全国大会に出場した、市内在住の県立岐阜商業高等学校吹奏楽部メンバー5人が出場結果報告のため、市長を表敬訪問しました。

吹奏楽部は、12月15日に、さいたまスーパーアリーナで開催された同大会で、高等学校の部で金賞を受賞しました。メンバーは「ステージからの眺めは出場者しか見ることができない眺めで、大変貴重な経験ができた」と話しました。

蛭ヶ丘自治会が宝くじの 助成金で防災資機材を整備



コミュニティ助成事業を活用して、蛭ヶ丘自治会が防災資機材を整備しました。

この助成事業は、(一財)自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源とし実施しており、地域住民が、災害から地域を守るための防災活動に必要な設備などの整備に助成する事業です。

これにより同自治会では、防災・減災への備えの充実を図ることができました。

夢と希望をのせて 聖火リレーランナーに内定



2月6日、東京2020オリンピック聖火リレー県内走行ランナーに内定した、山県市出身の恩田聖敬さんが市長を表敬訪問しました。

恩田さんは「健常者も障がい者も関係なく、スポーツを楽しみ尽くす思いで、笑顔で走りきたい」と意気込みを語りました。市長は「社会に関わっていきこうとする思いが伝わる。市民も恩田さんをよく知っていて応援している。頑張ってほしい」と激励しました。

ハビックス(株)が 軽自動車を贈呈



2月6日、市役所正面玄関で、ハビックス(株)代表取締役社長吉村和彦さんから山県市に対して、環境パトロール用軽自動車の寄贈があり贈呈式を行いました。

軽自動車は、第2次山県市環境基本計画の基本理念「環境の良さが実感できるまちやまがた」を実現するため、環境パトロール用として使用します。

市長は「美しいまちづくりのために活用していきたい」と話しました。

(株)オンダ製作所が 省エネ大賞を受賞



2月5日、2019年度省エネ大賞・製品・ビジネスモデル部門で経済産業大臣賞を受賞した、(株)オンダ製作所常務取締役林延彦さんが受賞報告のため、市長を表敬訪問しました。同社は、圧力損失の少ない樹脂製の給水・給湯配管用の継ぎ手を開発。この継ぎ手により、配管抵抗が減少し、従来より細い配管で十分な水量が確保でき、ポンプ動力の削減などで省エネが図られることが認められ、今回の受賞となりました。